

SIGGRAPH Asia 2024、3年ぶりに東京で開催 基調講演者が決定

イッセイミヤケの宮前義之氏、ソニーグループの北野弘之氏、映画プロデューサーのジンコ・ゴトウ氏の3名が登壇

2024年12月3日(火)～6日(金)に東京国際フォーラムで開催される、コンピュータ科学分野の国際学会(ACM)の分科会「SIGGRAPH Asia 2024(シーグラフアジア2024)」運営事務局(ケルンメッセ株式会社)は、今年の基調講演者が、イッセイミヤケ、エイポック エイブル デザイナー、デザイン・ディレクターの宮前弘之氏、ソニーグループ執行役専務兼CTOの北野弘之氏、アカデミー賞にノミネートされた経験を持つ映画プロデューサーのジンコ・ゴトウ氏に決定したと発表した。各氏の講演日時並びにタイトルは確定次第、公式サイト(<https://asia.siggraph.org/2024/ja/>)で発表する予定。

宮前義之氏は、2001年に三宅デザイン事務所に入社し、三宅一生と藤原大が率いるA-POCの初期メンバーとして活動しました。2011年から2019年までISSEY MIYAKEのデザイナーを務め、2020年秋にはTADANORI YOKOO ISSEY MIYAKEを立ち上げました。A-POC ABLE ISSEY MIYAKEでは、専門家チームを率いて研究開発に取り組んでいます。北野宏明氏は、ソニーグループの執行役専務兼最高技術責任者(CTO)であり、AI分野の世界的リーダーです。AI、ロボティクス、



システム生物学における革新的な業績を誇り、これらの分野での先駆者として、半導体からエンターテインメントに至るまで、多岐にわたる分野でのイノベーションに影響を与えてきました。北野氏は、世界的なAI倫理と安全性に関する重要なアドバイザー役を務め、その影響力のある貢献により、「コンピュータと思想賞」や「ネイチャー科学の創造的指導者賞」など、数々の栄誉を受けています。

ジンコ・ゴトウ氏は、アカデミー賞にノミネートされ、BAFTA賞を受賞したプロデューサーで、アニメーション業界において革新をもたらす存在として知られています。多様なクリエイティブな才能を育成し、新しい技術の開拓に情熱を注いでいます。『Klaus』、『レゴ ムービー2』、『ファインディング・ニモ』などの象徴的な映画に携わり、世界中でアニメーションの未来を形作ってきました。女性や少数派の支援者としても活躍しており、Women in Animationの副会長を務め、複数の業界の権威ある団体でも指導的役割を果たしています。SIGGRAPH Asia 2024は、3年ぶりに東京で開催されるもので、業界を代表するクリエイター、エンジニア、学識経験者に

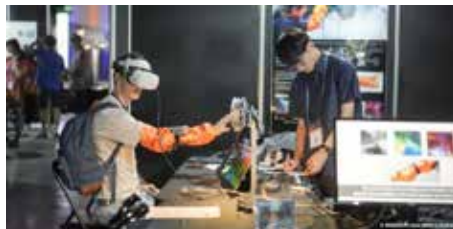
よるセッション・機器展示が行われます。現在、オンライン来場登録を受けており、2024年10月18日(金)まで早期割引料金が適用され、また団体割引(5名以上)も用意されています。受付は、専用サイト(日本語/英語)で行い、国内の参加者は日本円で、海外からの参加者は米ドルでクレジットカード決済にてお支払いいただきます。各プログラムの受講対象や各料金の詳細は、下記専用サイトをご参照ください。<https://asia.siggraph.org/2024/ja/attend/registration-categories-fees/>

ACM SIGGRAPH について

ACM SIGGRAPHは、コンピュータ・グラフィックスとインタラクティブ技術に関心を持つ研究者、アーティスト、開発者、映画製作者、科学者、実務家が集まる国際的なコミュニティです。ACMは、世界初で最大のコンピュータ協会であり、ACM SIGGRAPHはその特別分科会です。当団体の使命は、同じ志を持つ研究者や実践者を育成し、連携させ、コンピュータ・グラフィックスおよびインタラクティブ技術の革新を促進することです。



コンピュータアニメフェスティバル



体験ホール・アメージングテクノロジー



キーノート



体験ホール・アートギャラリー



体験ホール・XR



ポスター展示

Information



リアルタイムライブ



展示会場



テクニカルペーパー



展示会場



出展者講演



テクニカルペーパー



展示会場



入場登録受付



展示会場



展示会場



学生ボランティア

ACM SIGGRAPH は、世界で最も重要な技術会議の1つを北米とアジアでそれぞれ開催しています。SIGGRAPH と SIGGRAPH Asia は、数万人のコンピュータ・グラフィックス専門家が参加する、最新技術と研究の発表において高く評価されているイベントです。

詳細は、www.siggraph.org

SIGGRAPH Asia について

SIGGRAPH Asia は、コンピュータ・グラフィックスとインタラクティブ技術に関する国際会議であり、ACM の分科会である SIGGRAPH が毎年冬にアジアで開催しています。

SIGGRAPH Asia 2024 について

ACM SIGGRAPH が主催する SIGGRAPH Asia 2024 は、コンピュータ・グラフィックスおよびインタラクティブ技術の革新を紹介する展示会および会議で、今年で17回目の開催です。日本での開催は、過去に横浜（2009年）、神戸（2015年）、東京（2018年、2021年）に次いで5回目であり、本イベントは2024年12月3日（火）

から12月6日（金）まで、東京国際フォーラムで開催されます。

SIGGRAPH Asia 2024 は「Curious Minds」をテーマに、世界中の研究者や企業による最新技術（コンピュータ・グラフィックス、バーチャル・リアリティ、拡張現実、人工知能など）の発表が行われます。また、企業や大学によるこれらの技術の没入型展示や、エレクトロニックシアターでのトップクラスのCG/アニメーション/映画作品の上映、その他の先進的なプログラムも実施されます。

多くの日本の大学や研究機関も研究成果を発表し、参加者に高度な技術に関する知識を深め、国際的かつ地域的な交流を図る機会を提供します。

詳細は、

<https://asia.siggraph.org/2024/>



公式ハッシュタグ
#SIGGRAPHAsia および
#SIGGRAPHAsia2024
を使って、Facebook、X(旧Twitter)、Instagram、YouTube でイベ

ントをフォローすることもできます。

ケルンメッセについて

ケルンメッセ Pte Ltd は、世界最大級の見本市会社の1つであり、80以上の見本市と展示会を開催しています。展示会参加者の60%と来場者の40%がドイツ国外からの参加です。ケルンメッセのイベントには、IMMケルン、Anuga、IDS、INTERMOT、Interzumケルン、Photokina、Gamescom、International Hardware Fair Cologne など、25の業界向けに開催される世界をリードする見本市が含まれています。ケルンメッセは、SIGGRAPH Asia の16回の開催にわたって、ACM SIGGRAPH のイベント・オーガナイザーを務めています。

詳細は www.koelnmesse.asia



SIGGRAPH Asia 2024 広報
・アソシエイツ 河西 (か
asai@siggraph.org